

新着情報

- 硬式野球部夏の広島県野球大会でベスト4に進出全国から注目を集めるクラブに。昨年度は、硬式野球部よりオリックス・バファローズに育成選手2位指名で入団。
- 「武田SDGs宣言」SDGsの目標達成に向けて積極的な取り組みを実施
- プラネタリウムのリニューアル(昨年度)デジタル投影機を設置し、迫力ある美しい映像を楽しめるように
- マルチメディア教室のリニューアル(昨年度)アクティブラーニングなど多様な授業に対応

入試結果

	募集定員	推薦入試				一般入試			入学者数 合計
		受験者数	合格者数	倍率	入学者数	受験者数	合格者数	倍率	
2017年度	280名	50名	48名	1.04倍	48名	457名	430名	1.06倍	154名
2018年度	280名	49名	49名	1.00倍	49名	467名	438名	1.07倍	142名
2019年度	280名	70名	70名	1.00倍	70名	420名	401名	1.05倍	159名
2020年度	280名	89名	88名	1.01倍	88名	389名	371名	1.05倍	160名

2020年度入試平均点	
数学	57.7点
国語	55.0点
理科	50.6点
社会	61.2点
英語	59.3点
5科合計	285.7点

2020年度合格最低点:非公表 ○合格者平均点:292.6点

2021年度募集要項

◆【募集定員】Aコース・Bコース200名(グローバルスタディーズコースを含む)推薦

○推薦

- <試験日> 1月14日(木)
- <合格発表> 1月18日(月)
- <試験科目> 英語・数学・国語
- <時間> 各50分
- <面接> 5～6人での集団面接

○一般専願・一般併願

- <試験日> 1月14日(木)
- <合格発表> 1月22日(金)
- <試験科目> 英語・数学・国語・理科・社会
- <時間> 各50分

◆【募集定員】グローバルスタディーズコース200名(ABコースも含む)

○推薦

- <試験日> 1月14日(木)
- <合格発表> 1月18日(月)
- <試験科目> 英語・数学・国語
- <時間> 各50分
- <面接> 英語個別面接(英語検定3級2次程度の会話文)、5分

○一般専願・一般併願

- <試験日> 1月14日(木)
- <合格発表> 1月22日(金)
- <試験科目> 英語・数学・国語
- <時間> 各50分
- <面接> 英語個別面接(英語検定3級2次程度の会話文)、5分

学校情報

●コースについて

- Aコース…難関国公立・難関私立に挑戦するコース。個々の生徒の学力到達状況を踏まえた習熟度別授業を展開し、基礎学力の徹底と応用力の向上を実現するコース。例年80%以上が国公立大に合格している。
- Bコース…国公立・県内を中心とした中堅私立合格を目指すコース。立命館大学、関西大学、関西学院大学、日本大学などの指定校推薦はBコースから優先的に選ぶとともに、大学入試に対応できる学力を身につけさせる。きめの細かい授業展開を特徴とし、基礎学力の徹底的な向上を図っている。
- GSコース…グローバルな視点を持ち、世界に貢献できる人材を育成することを目的とした新コース(創設3年目)。担任にはネイティブスピーカーの教師や英語科教師、また国際学担当教師が就き、外国人との交流イベント(校内外)や海外留学を通じ、学んだ知識を経験によって定着させていく。海外の大学や国内外の外国語学部系、国際学部系、教育学部系などの進路を視野にいれたカリキュラムとなっている。2年次にはハワイのコミュニティカレッジで約1ヶ月の研修を行う。

●入試形態について

- 推薦入試…合格者は必ず入学しなければならない。合格ラインは一般入試よりも易くなる。
- 一般専願入試…合格者は他の私立を受験できないが、公立高校に合格すれば公立への入学は可。
- 一般併願入試…他の私立、公立合格の場合どこに入学してもよい。合格ラインは難しくなる。
- 内申は5段階の絶対評価、5教科で25点。3学年で75点満点とし、参考資料とする。
- 合否は、入試の得点・面接(推薦のみ)など総合的に判断。

●傾斜配点について

- GSコース…英語の得点が1.5倍

●筆記試験について

- コロナウィルス感染拡大防止のための休校期間を配慮した内容とする。難問はなし。
- 英語のリスニングを推薦入試、一般専願・一般併願入試ともに実施。
- 当日の試験でAコース、Bコースが決定する。

●面接について

- 5段階で評価。服装や身だしなみ、発言内容を重視する。推薦入試であっても面接で不合格になる場合がある。一般専願・一般併願入試においては面接を実施しない。GSコースは全員、英語の個別面接を実施する。(英語検定3級の2次試験程度)

●入試全般について

- スポーツ推薦はなし

●奨学生について

- 入試の成績上位者に入学金・月々の奨学金を支給する制度がある。推薦・一般専願での出願に限る。

●授業体制について

- ICT教育を導入し、タブレットを授業や家庭学習で活用している。
- 全クラス教室に電子黒板を配備し、図表や画像、大量の文章などを瞬時投影し、効率的な授業を行っている。
- 休校期間も生徒のタブレットと教員をつなぎ、オンラインで授業を実施した。毎日の健康観察、個別添削指導や個人面談なども実施。
- 5教科重点のバランスのよい学習を目指す。習熟度別クラスや教師の目標設定などで授業力を強化している。
- 大学入試共通テストに向けて予習・復習の徹底を指導している。

●登下校について

- スクールバスは全席指定で、バス代は距離によって異なる。(5,500円～20,000円程度)

●硬式野球部の入部について

- 近年、野球部への入部希望者が急激に増えており、設備や体制等の整備が難しく全員を受け入れられない状況になりつつある。よって、入部希望者へは入試の際に独自の基準が設けられる。(詳しい内容は学校に直接連絡)

クラブ活動

- 体育系 硬式野球／ソフトボール(女)／サッカー／陸上競技／水泳／バスケットボール／バレーボール(女)／テニス／卓球／柔道／剣道／ゴルフ／バドミントン／ダンス／ヨット
- 文化系 図書／放送／吹奏楽／美術／茶華道／インターアクト／理科研究同好会／ICT研究会／かるた同好会／手話同好会／フラダンス同好会

野球部 広島県高校野球大会ベスト4(本年度)

卓球部 インターハイ出場(12年連続)

茶華道部 池坊 花の甲子園中国地区大会3位(昨年度)

美術部 全国高校生漫画選手権大会(まんが甲子園)本選進出(昨年度)

フラダンス同好会 全国高校フラ競技大会「第9回フラガールズ甲子園」 新人賞(自由曲部門)(昨年度)

進路実績

大学の合格実績については、現役生・過年度生の合計人数。()内は、過年度生の内数。

	広島大	山口大	愛媛大	国公立合計	広島修道大	広島国際大	私大合計	短大	専門学校	就職
2017年度	3名(0)	1名(0)	0名(0)	22名(1)	33名(1)	55名(0)	270名(10)	10名	17名	4名
2018年度	1名(0)	0名(1)	6名(0)	26名(2)	19名(1)	41名(3)	217名(6)	0名	12名	2名
2019年度	4名(0)	0名(0)	2名(0)	34名(0)	26名(0)	26名(0)	210名(11)	6名	21名	5名
2020年度	0名(1)	4名(0)	0名(0)	25名(2)	16名(0)	42名(3)	208名(20)	3名	15名	6名

[国公立] 横浜国立大・東京学芸大・静岡大・鳥取大・岡山大・大分大・県立広島大・島根県立大・広島市立大 他

[私立] 慶應義塾大・明治大・東京理科大・同志社大・立命館大・関西大・関西学院大・西南学院大 他

HPアドレス

<https://takeda.ed.jp>



G S コースハワイ研修



国際交流



授業風景



体育祭